

熊本高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	科学技術英語
科目基礎情報						
科目番号	0038		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布／参考書：アクティブ科学英語―読解型から発信型へ 多田旭男ら 三共出版					
担当教員	湯治 準一郎,若杉 玲子					
到達目標						
1. 基礎的かつ実践的な英語の言い回しを聞き取り、理解し、書くことができる。 2. 技術者にとって必要な英語表現法の基礎的事項を理解できる。 3. 各専門分野における英語論文等を題材として、技術英語を、辞書を引きながら抵抗なく聞いて、読むことができる。 4. 与えられた英語の課題内容について、第3者に説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基礎的かつ実践的な英語の言い回しを聞き取り、理解し、書くことができる。		基礎的な英語の言い回しを聞き取り、理解し、書くことができる。		基礎的な英語の言い回しを聞き取り、理解し、書くことができない。	
評価項目2	専門分野における英文の論文や技術レポートなどを、辞書を引きながら抵抗なく読み進むとともに、論文やレポートの内容まで理解することができる。		専門分野における英文の論文や技術レポートなどを、辞書を引きながら読み進めることができる。		専門分野における英文の論文や技術レポートなどを、辞書を引きながらでも読み進めることができない。	
評価項目3	与えられた英語の課題内容について、第3者にわかりやすく説明できる。		与えられた英語の課題内容について、第3者に説明できる。		与えられた英語の課題内容について、第3者に説明できない。	
評価項目4	専門分野における英文の論文や技術レポートにおける英語表現法の基礎的事項及び応用的事項を理解することができる。		専門分野における英文の論文や技術レポートにおける英語表現法の基礎的事項を理解することができる。		英語表現法の基礎的事項を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 1-2 JABEE (f)						
教育方法等						
概要	国際化の動きの中で、技術者にとって英語による情報の収集や伝達など国際的に通用するコミュニケーション能力を身に付けることがますます重要になっている。この科目では、異なる専門分野における技術レポート等を題材として、読解力や表現力など工学分野に適応する科学技術英語の基礎力を養成する。					
授業の進め方・方法	前半は、共通の内容として科学技術英語の基礎的表現について授業する。後半は、専門分野に関する英文の読解力向上を目的として、各学生の特別研究に関連した専門分野の英語文献等の講読を演習課題とし、自主的な学習への取り組みによって、科学技術英語力の向上を図る。					
注意点	技術英語は特殊な英語ではなく、慣用スタイルや基本的な技術用語に慣れれば一般的な英語と大きく異なるものではない。英語力を身につけるにはそれなりの時間をかけることが必要であり、毎日少しずつ自学自習する習慣付けを心がけたい。質問は随時受け付ける。 目標項目1～4についての達成度を、試験と課題レポート等で評価する。評価は中間試験結果を50%程度、課題レポート等の評価を50%程度として、それらの平均を総合評価とし、60点以上を合格とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	科学技術英語の基礎的表現(objects)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		2週	基礎的表現(positions)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		3週	基礎的表現(movement, mathematics)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		4週	基礎的表現(mathematics, graphs)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		5週	基礎的表現(experimental methods)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		6週	基礎的表現(results and discussion)		基礎的な英語表現を聞き取り、理解し、書くことができる。	
		7週	〔中間試験〕		中間試験	
		8週	答案返却と解説、各学生へ後半の課題提示		答案返却と解説、各学生へ後半の課題提示	
	4thQ	9週	英語論文等講読		専門分野における英語文献（論文、技術レポート）を読み、内容を説明することができる。	
		10週	英語論文等講読		専門分野における英語文献（論文、技術レポート）を読み、内容を説明することができる。	
		11週	英語論文等講読		専門分野における英語文献（論文、技術レポート）を読み、内容を説明することができる。	
		12週	英語論文等講読		専門分野における英語文献（論文、技術レポート）を読み、内容を説明することができる。	
		13週	英語論文等講読		専門分野における英語文献（論文、技術レポート）を読み、内容を説明することができる。	
		14週	課題レポート作成・提出		講読した英語文献（論文、技術レポート）内容をレポートにまとめて報告することができる。	
		15週	課題レポートの内容確認		レポートの内容について第3者に説明することができる。	

		16週	課題レポートの内容確認		レポートの内容について第3者に説明することができる.		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	25	25	0	0	0	0	50
専門的能力	25	25	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0